

再 評 価 調 書

I 事業概要						
事業名	道路事業					
地区名	主要地方道岡崎足助線（鍋田・王滝工区） <small>おかざきあすけ なべた おおたき</small>					
事業箇所	豊田市鍋田町～王滝町 <small>なべたちょう おおたきちょう</small>					
事業のあらまし	<p>主要地方道岡崎足助線は、岡崎市の国道1号から豊田市足助地区の国道153号に至る延長23.6kmの地域間を連絡する主要な幹線道路である。また、第二次緊急輸送道路として位置づけられ、防災上重要な路線でもある。</p> <p>当該事業区間は線形が不良で見通しが悪く、狭隘区間での車両のすれ違いが困難であることから、円滑な交通の妨げとなっている。また、通学路に指定されているが歩道が設置されておらず、歩行者の安全性が確保されていない。</p> <p>このため、通学路の安全性向上及び緊急輸送道路ネットワークの強化を主な目的として主要地方道岡崎足助線の現道拡幅を実施するものである。</p>					
事業目標	<p>【達成（主要）目標】</p> <p>(1) 交通事故対策（通学路の安全性向上）</p> <p>(2) 地震・津波対策（緊急輸送道路ネットワークの強化）</p> <p>【副次目標】</p> <p>—</p>					
計画変更の推移		事前評価時 (2012年度)	再評価時(1回目) (2016年度)	再評価時(2回目) (2021年度)	変動要因の分析	
	事業期間	2012年度 ～2020年度	2012年度 ～2020年度	2012年度 ～2023年度	用地交渉の難航	
	事業費(億円)	10.5	10.5	14.8	地質調査結果に基づく擁壁構造の変更 (工事費:2.5億円→3.6億円) (用補費:1.5億円→4.0億円) (その他:0.5億円→1.2億円)	
	経費内訳	工事費	8.5	8.5		9.6
		用補費	1.5	1.5		4.0
	その他	0.5	0.5	1.2		
	事業内容	現道拡幅 延長1.5km 幅員9.75m 2車線	現道拡幅 延長1.5km 幅員9.75m 2車線	現道拡幅 延長1.5km 幅員9.75m 2車線		
II 評価						
①事業の必要性の変化	1) 必要性の変化	<p>【事前評価時の状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> 豊田市中心部の東側を縦断する幹線道路であり、地域間交流における重要な路線である。地域住民にとっての主要な生活道路となっているほか、通学路にも指定されている。 第二次緊急輸送道路に指定されており、防災上も重要な路線に位置づけられていることから、当該工区の拡幅による緊急輸送道路ネットワークの強化が必要である。 狭隘区間を拡幅整備することにより、交通の円滑化および安全性の向上を図ることが必要である。 				

	<p>【再評価時(1回目)の状況】 事前評価時より大きな変動はなく、依然として必要性がある状況である。</p> <p>【再評価時(2回目)の状況】 (1) 交通事故対策 ・当該事業区間は、依然として線形が不良で見通しが悪く、狭隘区間での車両のすれ違いが困難であり、円滑な交通の妨げとなっている。また、通学路に指定されているが歩道が設置されておらず、歩行者の安全性が確保されていないことから、安全な歩行空間の整備が必要な状況は変わらない。</p> <p>(2) 地震・津波対策 ・主要地方道岡崎足助線は第二次緊急輸送道路として位置づけられており、災害時の安全・円滑な通行機能を確保する必要性は変わらない。</p> <p>【変動要因の分析】 ・依然として、狭隘区間が存在し、円滑な自動車交通に支障をきたしており、通学路も変更していないことから、主要な生活道路として、安全性の向上が必要である。</p>																																																																																																												
判定	<p>B</p> <p>A： 事業着手時に比べ必要性が増大している。 B： 事業着手時に比べ必要性にほとんど変化がない。 C： 事業着手時に比べ必要性が著しく低下している。</p> <p>【理由】 ・通学路の安全性向上及び緊急輸送道路ネットワークの強化の観点から、事業の必要性に大きな変化がないため。</p>																																																																																																												
1) 進捗状況	<p>【事業計画及び実績】</p> <table border="1" data-bbox="370 1131 1388 1608"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>2012～2015</th> <th>2016～2020</th> <th>2021</th> <th>2022</th> <th>2023</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="6">工 種 区 分</td> <td>調査・設計</td> <td colspan="2">←→</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td rowspan="6" style="text-align: center;">/</td> </tr> <tr> <td>用地補償</td> <td colspan="2">←→</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>工事</td> <td></td> <td colspan="4">←→</td> </tr> <tr> <td>・土工</td> <td></td> <td colspan="3">←→</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・擁壁工</td> <td></td> <td colspan="2">←→</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・舗装工</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td colspan="2">←→</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">事業費 (億円)</td> <td>前回計画</td> <td>5.6</td> <td>4.9</td> <td colspan="3"></td> <td>10.5</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>5.6</td> <td>6.4</td> <td colspan="3"></td> <td>12.0</td> </tr> <tr> <td>今回計画</td> <td>5.6</td> <td>6.4</td> <td colspan="2">2.8</td> <td></td> <td>14.8</td> </tr> </tbody> </table> <p>【進捗率】</p> <table border="1" data-bbox="370 1684 1375 2020"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">これまでの計画に対する達成状況</th> <th colspan="2">全体進捗状況</th> </tr> <tr> <th>計画【①】</th> <th>実績【②】</th> <th>達成率(%)【②÷①】</th> <th>計画【③】</th> <th>進捗率(%)【②÷③】</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>延長(km)</td> <td>1.5</td> <td>0.0</td> <td>0</td> <td>1.5</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>事業費(億円)</td> <td>10.5</td> <td>12.0</td> <td>114</td> <td>14.8</td> <td>81</td> </tr> <tr> <td> 工事費</td> <td>8.5</td> <td>6.8</td> <td>80</td> <td>9.6</td> <td>71</td> </tr> <tr> <td> 用補費</td> <td>1.5</td> <td>4.0</td> <td>267</td> <td>4.0</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td> その他</td> <td>0.5</td> <td>1.2</td> <td>240</td> <td>1.2</td> <td>100</td> </tr> </tbody> </table> <p>※用地進捗率(面積ベース)は、約100%</p>			2012～2015	2016～2020	2021	2022	2023	合計	工 種 区 分	調査・設計	←→					/	用地補償	←→					工事		←→				・土工		←→				・擁壁工		←→			・舗装工				←→		事業費 (億円)	前回計画	5.6	4.9				10.5	実績	5.6	6.4				12.0	今回計画	5.6	6.4	2.8			14.8		これまでの計画に対する達成状況			全体進捗状況		計画【①】	実績【②】	達成率(%)【②÷①】	計画【③】	進捗率(%)【②÷③】	延長(km)	1.5	0.0	0	1.5	0	事業費(億円)	10.5	12.0	114	14.8	81	工事費	8.5	6.8	80	9.6	71	用補費	1.5	4.0	267	4.0	100	その他	0.5	1.2	240	1.2	100
		2012～2015	2016～2020	2021	2022	2023	合計																																																																																																						
工 種 区 分	調査・設計	←→					/																																																																																																						
	用地補償	←→																																																																																																											
	工事		←→																																																																																																										
	・土工		←→																																																																																																										
	・擁壁工		←→																																																																																																										
	・舗装工				←→																																																																																																								
事業費 (億円)	前回計画	5.6	4.9				10.5																																																																																																						
	実績	5.6	6.4				12.0																																																																																																						
	今回計画	5.6	6.4	2.8			14.8																																																																																																						
	これまでの計画に対する達成状況			全体進捗状況																																																																																																									
	計画【①】	実績【②】	達成率(%)【②÷①】	計画【③】	進捗率(%)【②÷③】																																																																																																								
延長(km)	1.5	0.0	0	1.5	0																																																																																																								
事業費(億円)	10.5	12.0	114	14.8	81																																																																																																								
工事費	8.5	6.8	80	9.6	71																																																																																																								
用補費	1.5	4.0	267	4.0	100																																																																																																								
その他	0.5	1.2	240	1.2	100																																																																																																								

②事業の進捗状況及び見込み

2) 未着手 又は長期化の理由	・用地交渉が難航したため、完了予定年度を2023年度に変更する。	
3) 今後の事業進捗の見込み	【阻害要因】 ・用地難航箇所の用地買収は完了したため、大きな阻害要因はない。 【今後の見込み】 ・2023年度までに整備が完了する予定である。	
判定	B	A：事業は順調であり、計画通り確実な完成が見込まれる。 B：次のいずれか（該当する項目に「○印」を付ける） ・これまで事業は順調である。今後は多少の阻害要因が見込まれるものの、一定の期間等を要すれば、解決できる見通しがあり、ほぼ計画通りの完成が見込まれる。 <input checked="" type="radio"/> これまで事業が長期化していたが、事業期間を延長したことにより、今後は阻害要因がなく、ほぼ計画通りの完成が見込まれる。 ・これまでの事業長期化により、事業期間を延長した。今後も多少の阻害要因が見込まれるが、一定の期間等を要すれば、解決できる見通しがあり、ほぼ計画通りの完成が見込まれる。 C：阻害要因の解決が困難で、現時点では、事業進捗の目処がたたない。
		【理由】 ・阻害要因がなく、2023年度までに整備完了が見込まれるため。
Ⅲ 対応方針（案）		
継続	中止：上記①～③の評価で一つでもC判定があるもの。 継続：上記以外のもの。	
Ⅳ 再評価実施の有無と主な評価内容		
■対象（事業完了後5年目） <input type="checkbox"/> 対象外 【事業完了後5年を越えて実施する理由・対象外の理由】 — 【主な評価内容】 ・交通量（全車、大型車）、旅行速度、安全性の改善状況		